

# 幌延町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定

## 幌延町まち・ひと・しごと創生会議から答申をいただきました

少子高齢化・人口減少が進むわが町において、潤いある生活を安心して営むことができる環境を整えるべく「人口ビジョン」及び「総合戦略」の策定について、22名の委員の皆様にご意見を伺い、10月5日に一関委員長から野々村町長へ答申が手渡されました。



◇いただいた原案は、10月23日（金）までのパブリックコメント手続きを経て、完成となりました。

「幌延町まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、まち・ひと・しごと創生法に基づき、まちの人口の現状と将来の姿を示した「幌延町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」を踏まえ、まちの創生に向けた目標や施策の基本的方向、具体的な施策を定めたものです。

戦略に登載した様々な施策は、まちにしごとをつくり、人口の減少に歯止めをかけるため、第5次幌延町総合計画に登載の各種施策に加えて実施します。

### 幌延町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

#### ◇基本的視点

- 1 転出の抑制
- 2 転入の促進
- 3 出生者数の増加

#### ◇目指すべき将来の方向

人口推計

(国立社会保障・人口問題研究所データ)

・平成52年の幌延町推計人口：

**1,693人** (平成22年国勢調査人口をベースに算出)

※本町が目指す平成52年の人口目標は**2,241人**です。

人口減少が着実に進む中、現状のまちの機能や住民サービスを維持するために、2,000人以上の人口は最低限維持しなければならない数値だと言えます。

産業の育成・強化、生活環境の向上、地域の魅力発掘など、中長期的かつ効果的な取り組みを町民の総力で、着実に実行することにより、人口減少の程度を圧縮し、特に減少の大きな背景となっている社会減の克服を目指します。

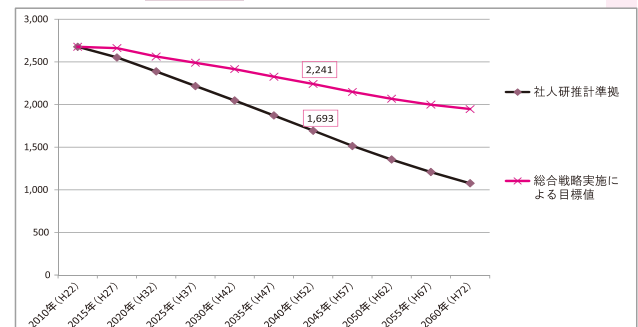
#### ○将来の人口推計

	2010年 (H22)	2015年 (H27)	2020年 (H32)	2025年 (H37)	2030年 (H42)	2035年 (H47)	2040年 (H52)	2045年 (H57)	2050年 (H62)	2055年 (H67)	2060年 (H72)
社人研推計準拠	2,677	2,552	2,388	2,217	2,047	1,872	1,693	1,514	1,355	1,209	1,076
総合戦略実施による目標値	2,677	2,662	2,563	2,490	2,415	2,326	2,241	2,148	2,067	1,999	1,947

#### ※国勢調査人口

調査年の10月1日における町の常住人口を示したものです。

この数値は、普通交付税算定の基礎数値に使われるなど、国や地方公共団体における各種施策の策定などに活用されることから、「法定人口」とも呼ばれるもので、住民票の有無にかかわらず、町に実際に住んでいる人口を把握したものです。



### 幌延町まち・ひと・しごと創生総合戦略

#### ◇基本目標と具体的施策

国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における基本目標に沿って、5つの基本目標を設定しています。

##### 1 まちにしごとをつくり安心して働けるようにする

基幹産業である酪農の振興を図ると共に、商工業の振興、企業誘致、起業支援、再生可能エネルギーの活用を推進し、雇用創出を図る。

#### ○具体的施策

ア. 酪農の振興

- ① 農業生産法人による新規農場の設立
- ② 畜産クラスター事業の推進